

## 「第2回 札幌大学 エクセレント講座」11月2日 開催

第2回札幌大学エクセレント講座は、パリ・ソルボンヌ大学総長ジャン・ロベール・ピット氏、ホテルクラビーサッポロ料理長 貫田桂一氏、はまなす財団常務理事 山崎一彦氏を招て11月2日(水)14:40~17:50札幌大学で開催します。当日は前半にジャン・ロベール・ピット氏の講演「北海道の食と観光を考える～美味しい北海道の売り方～」を行います。後半は、山崎一彦氏の進行でジャン・ロベール・ピット氏と貫田桂一氏の対談を行います。

ジャン・ロベール・ピット氏は**地理学者としての観点**からワインやチーズ等農産物の品質とそれを生産する**地域の景観**の間には非常に深い関連性があると考えています。北海道の美しい農村景観と高品質の農産物についてフランスの例をあげながら語り、さらに、これからの北海道の食と観光の可能性について講演する予定です。

後半の貫田氏との対談は、安心・安全で美味しい北海道の食材を生かした“北海道の料理や観光”のお話を交えながら、新しい視点に立った北海道の売り方について、会場の皆さんを交えながら議論します。

### 【ジャン・ロベール・ピット氏 略歴】

フランス・パリ出身、地理学者、パリ・ソルボンヌ大学総長。ソルボンヌ大学卒業。同大学講師、助教授を経て'88年地理学教授、フランス地理学会会長などを務め、2003年から現職。著書に「フランスの美食」「パリ大都市圏・その構造変化」など多数。特定非営利活動法人 建設環境情報センター主催、日仏景観会議に今年度、講師として講演。

### 【貫田桂一氏 略歴】

静岡県生まれ千歳市出身、ホテルクラビーサッポロ料理長。北海道の食材を使った“北海道の味”を積極的に提案。道庁“地域づくりアドバイザー”として地域の特産物を製品化するなどの助言も行っています。98年に「ホクレン夢大賞・農業応援部門大賞」を受賞。著書に「北の料理人」I&II(晶文社)があります。

第1回札幌大学エクセレント講座を10月5日開催しました。講師に東日本旅客鉄道株式会社取締役会長松田昌士氏を招いて「どうする北海道～札幌大学の役割～」というテーマで講演会を開催しました。講演当日は、本学学生約800人、一般市民の方約30人が参加し盛大におこなわれました。松田氏は講演の中で、世界中の鉄道と文化の話から、北海道の観光と農業の発展の重要性、現代の若者に対する提言などを講演されました。

